

第5期まつもと子ども未来委員会の市長提言について

1 市長への提言

(1) 市役所新庁舎建設事業

テーマ 「安心・安全 ～市民に寄り添う庁舎～」

市役所新庁舎建設事業の基本的な考え方を学習し、実際に庁舎の中を見学しました。どんな世代の人にも使いやすくすることや、通路を広く取り各課の表示を統一すること、市民が行きやすいと思える庁舎ということを考えました。

課 題	提 言
1 市民が安心できるスペース不足	子どものためのスペース設置 市民同士、市民と職員の交流スペース
2 職場環境	資料保管スペースの確保 防犯・防災を意識した物の置き方
3 松本らしさとは	木材を利用する イメージカラーの緑を取り入れる

(2) 新博物館建設事業

テーマ 「分かりやすく」「楽しく」「使いやすく」

松本全体を屋根のない博物館として捉え、その中心となる博物館という考え方を学習し、実際の現在の博物館の展示物を見学しました。子ども向けの説明文や、小さい子どもも楽しめるものがあればいい、説明映像にクイズがあれば面白いという意見が出ました。

項 目	提 言
1 分かりやすく	説明文を見やすく スマホやタブレット等を使用した解説
2 楽しく	定期的なイベントの開催 フォトスポットの設置 スタンプ・クイズラリーの参加
3 使いやすく	歩きやすい配慮 来館者が疲れなための工夫
4 共通事項	多国語・点字表記 パンフレットの製作 博物館オリジナルキャラクターの公募

(3) 受動喫煙防止対策事業

考え方「喫煙者が減れば、受動喫煙の回数自体が減り、根本的な解決につながる。」

受動喫煙による害などについて学習し、松本駅前の受動喫煙防止対策の状況を見学しました。たばこは、周りの人に害を及ぼすことに驚いたことや地域・商店街の皆さんのおかげで、綺麗になっていると初めて知った、という意見が出ました。

項 目	提 言
1 灰皿の設置場所の工夫	人通りのある場所に灰皿があるから、喫煙者が増える。人通りの少ない場所に灰皿を設置すれば喫煙者が減る。
2 禁煙マークの工夫	足元にあるマークを目線の高さにする。デザインや色・字の大きさを工夫する。
3 喫煙可能な時間帯の規定	人がたくさん行き交う時間は吸ってはいけない等の規則をつくる。(人通りが多いところ)

2 活動報告

第1期から第4期までの委員会で市に提言した「自分たちが出来ること」を、委員会で実践し、取り組み状況を中間報告。

(1) 環境活動

ゴミの分別方法やゴミ拾いの注意点について学習し、あがたの森通りの歩道のゴミ拾いを実践しました。今後はポイ捨て防止の呼びかけや、未来委員会の活動を伝えていきます。

(2) PR(観光)活動

図書館や観光情報誌で松本の観光や歴史について学習し、松本の歴史と文化の観光PRについて子ども目線で考えました。現在松本の美しい自然を季節ごと紹介するポスターの図案を作成中です。

3 サポーター(大学生)からの一言

子どもたちが自ら学習や話し合いを行うなど、色々なことを子どもたちから学びました。

4 市関係者からのコメント

(1) 菅谷市長

- ・提言にあたってのプロセスが素晴らしい。大変まとまった内容だった。
- ・君たちも、まちづくりに参画できる一員・メンバーであることを改めて自覚して欲しい。
- ・市役所新庁舎について、防犯・防災を意識した物の置き方などの考え方をしているところが素晴らしい。
- ・基幹博物館の分かりやすい説明というのは、大事なことを指摘してくれた。
- ・すべての要望を聞くのは難しいが、必要最低限のお金で、子どもたちに喜んでもらえる施設を造っていきたい。
- ・受動喫煙防止について、人通りが多い時間は、たばこを吸わないように決めるという案は、とても良い案である。

(2) 赤羽教育長

- ・皆さん自身が考えようと取り組んだことがすごい事であり、これからもその気持ちを大切にしてほしい。
- ・今年は、サポーターが加わったが、サポーター自身も「色々なことを学びました」という発

言があり、みんなで考えていこうという表れですすごいこと。サポーターに敬意を表する。

- ・市役所新庁舎建設について、大人だけが使うのではもったいないという発想や新博物館建設では、見るだけ、解説を読むだけではなく、もっと体全体で感じて楽しさを味わいたいという思い。また、受動喫煙防止対策事業について、時間帯の規定という発想は、スクールゾーンの発想と重なって、場所と時間を組み合わせてルールにしたいという思いで、それぞれ素晴らしい。
- ・中間報告としての活動報告については、環境活動は、1人でもできるということを増やして行ってほしい。PR活動は、子どもの目から見た観光地を「おすすめ松本子ども百選」みたいなものを提案してほしい。

(3) 教育部長

- ・新庁舎建設事業と基幹博物館の建設事業について、松本市が進めている将来世代のハード整備事業で、子ども目線による今回の提言は、非常に有意義であると考えている。
- ・新庁舎建設及び新博物館建設の提案について、工夫しながら考えていきたい。

(4) 健康福祉部長

- ・受動喫煙防止は政策の1つとして、一定のルールを作っていくという考えで進めており、たばこを吸ってはいけない場所として、松本駅前を受動喫煙防止区域にしました。
- ・禁煙マークの工夫は、ぜひ皆さんに分かりやすい禁煙マークを考えて欲しい。
- ・喫煙可能な時間帯の規定について、吸えない時間を設定するというのは非常に良い考えなので、今後検討したい。

(5) こども部長

- ・どの提言も「子どもの視点」に立ち、非常に考えるべきものが多かったと感じている。
- ・新庁舎と博物館は、いずれも「使いやすい」というキーワードがありました。いずれの施設も身近な物と捉え「自分たちが使うにはどうするのがよいのか」自分たちが使う立場になった提言で非常に感心した。
- ・こども部長という立場から未来委員会について、みんな忙しい中、活動を続け、今日の提言を見事に成功させ本当にすごい、将来が楽しみと思いました。
- ・とても大事だと思ったのは、グループで話をして1つの結論を出した経験は、必ず将来に役だつと思う。

【提言の様子】

